**【参考資料】教育的ニーズを整理するための調査事項の例（聴覚障がい）**Word版

　以下の資料は、聴覚障がいのある子どもの教育的ニーズを整理するための三つの観点を踏まえて調査票の参考例として調査事項等を示したものである。

|  |
| --- |
| **１　聴覚障がいのある子どもの教育的ニーズについて～教育的ニーズを整理するための観点～****①　聴覚障がいの状態等の把握** |
| 視　点 | 事　　項 | 記　　録 |
| 医学的側面 | 障がいに関する基礎的な情報の把握 |  |
| 既往・生育歴 |  |
| 聴覚障がいの状況 |  |
| 現在使用中の補装具等 |  |
| 心理学的教育的側面 | 発達の状態等に関すること |  |
| 身体の健康と安全 |  |
| 保有する聴覚の活用状況 |  |
| 基本的な生活習慣の形成 |  |
| 運動能力 |  |
| 意思の相互伝達の能力 |  |
| 感覚機能の発達 |  |
| 知能の発達 |  |
| 情緒の安定 |  |
| 社会性の発達 |  |
| 本人の障がいの状態等に関すること |  |
| 障がいの理解 |  |
| 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善するために、工夫し、自分の可能性を生かす能力 |  |
| 自立への意欲 |  |
| 対人関係 |  |
| 学習意欲や学習に対する取組の姿勢 |  |
| 諸検査等の実施 |  |
| 個別式検査の種類 |  |
| 発達検査 |  |
| 検査実施上の工夫等 |  |
| 検査結果の評価 |  |
| 行動観察 |  |
| 認定こども園・幼稚園・保育所、児童発達支援施設等からの情報の把握 |  |
| 集団生活に向けた情報、成長過程 |  |
| **②　聴覚障がいのある子どもに対する特別な指導内容** |
| 就学前 |  |
| 聴覚の活用に関すること |  |
| 言葉の習得と概念の形成に関すること |  |
| 言葉を用いて人との関わりを深めたり、知識を広げたりする態度や習慣 |  |
| 義務教育段階 |  |
| 自分の障がいの特性の理解と生活環境の調整に関すること |  |
| 他者の意見や感情を理解することや集団への参加に関すること |  |
| 保有する聴覚の活用やその補助手段及び代行手段の活用に関すること |  |
| 意思の疎通を図るための言語の受容と表出に関すること |  |
| 生活や学習に必要な言語概念の形成や言語による思考力の伸長に関すること |  |
| コミュニケーション手段の選択と活用に関すること |  |
| **③　聴覚障がいのある子どもの教育における合理的配慮を含む必要な支援の内容** |
| ア　教育内容・方法 | （ア）教育内容 |  |
| 　ａ　学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮 |  |
| 　ｂ　学習内容の変更・調整 |  |
| （イ）教育方法 |  |
| 　ａ　情報・コミュニケーション及び教材の配慮 |  |
| 　ｂ　学習機会や体験の確保 |  |
| 　ｃ　心理面・健康面の配慮 |  |
| イ　支援体制 | (ア)専門性のある指導体制の整備 |  |
| (イ)子ども、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮 |  |
| (ウ)災害等の支援体制の整備 |  |
| ウ　施設・設備 | (ア)校内環境のバリアフリー化 |  |
| (イ)発達、障がいの状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮 |  |
| (ウ)災害等への対応に必要な施設・設備の配慮 |  |

|  |
| --- |
| **２　学校や学びの場について** |
| 設置者の受け入れ体制 | 特別支援学校（聴覚障がい）の状況 |  |
| 小・中学校の状況 |  |
| 本人・保護者の希望 | 希望する教育の場 |  |
| 希望する通学方法 |  |

|  |
| --- |
| **３　その他** |
| 併せ有する他の障がいの有無と障がい種 |  |
|  |  |

参考・引用：文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「障害のある子供のための教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（令和3年6月）